

富士川町

地形概況

富士川右岸に位置し、富士川扇状地や岩淵段丘が南北にのびる。松野は盆地状の谷底低地で溶岩台地・沖積地・小扇状地が発達する。山地には岩淵火山地、開析のすすんだ鷺の田丘陵、庵原山地からなり、入山断層も横断している。

地質概況

富士川扇状地の低地は厚い砂礫層で、岩淵段丘は砂礫層と黒色土でおおわれる。松野には富士山の溶岩が露出し台地を形成する。鷺の田礫層からなる丘陵もみられ、下部は含貝化石の内湾性泥層、上部は厚い礫層が分布し断層で区切られている。

気象概況

年平均気温は推定 14.5°C程度で、月平均気温最高の 8 月と最低の 1 月との年較差は 27°C程度と大きく、山間地型である。年平均降水量は桑木穴で 2,353mm と県平均である。降雨は梅雨から夏にかけて多く、全降水量の約 50%が降る。

災害事例 地震

- 1854 年 12 月 23 日（安政元年）安政東海地震 M=8.4
全県下に大被害があった地震であり、富士川では人家が残らず潰れ、道路・石垣・石橋等も残らず潰れた。また河原が隆起したため、富士川の流れが変わった。白鳥山が崩壊して富士川をせき止めたため、岩淵まで、その上流 20 町は水流れず、土で埋った。岩淵では人家はすべて潰れた。中之郷では、6 尺余地が裂け低くなった。震度は岩淵・中之郷で 7、南松野で 5～6 と推定される。

災害事例 台風

- 1982 年 8 月 2 日（昭和 57 年）台風 10 号
全県下に被害あり、東海道線富士川鉄橋が流失した。

災害事例 竜巻

- 1899 年 12 月 23 日（明治 32 年）
夜未曾有の旋風が現在の本通り付近に襲来、岩淵駅付近で家屋全壊 30 戸、同じく半壊が 13 戸、その他の被害も甚だしく圧死者 1 人、負傷者 13 人を出した。